

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-78555

(P2013-78555A)

(43) 公開日 平成25年5月2日(2013.5.2)

(51) Int.Cl.
A47G 25/40 (2006.01)F 1
A 4 7 G 25/40テーマコード (参考)
3 K 0 9 9

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2011-248054 (P2011-248054)
(22) 出願日 平成23年10月3日 (2011.10.3)(71) 出願人 599003718
岩崎 哲司
愛知県岩倉市下本町城址2 6 番地 横井借
家 5 号室
(72) 発明者 岩崎 哲司
愛知県岩倉市下本町城址2 6 番地、横井借
家 5 号室
Fターム(参考) 3K099 AA07 CB23

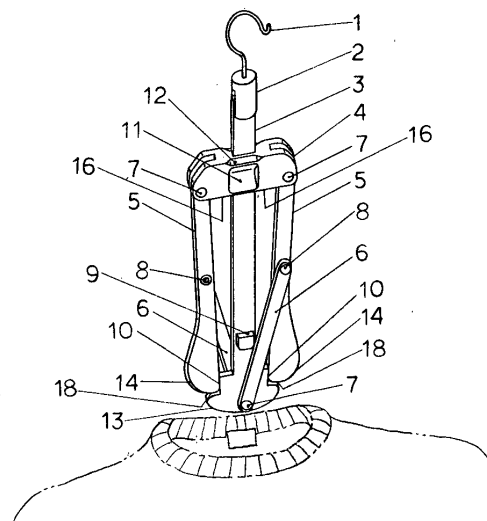
(54) 【発明の名称】 折り畳みハンガー

(57) 【要約】

【課題】丸くびセーターに簡単に着脱出来る折り畳みハンガーを提供する。

【解決手段】ブラケット4と肩かけアーム5、又、肩かけアーム5とリンク6、又、リンク6とスライドブラケット3を、ピンA7、ピンB8にて結合させ、ブラケット4の矩形穴をスライドブラケット3がスライド出来るリンク機構において、ブラケット4にセット用くぼみ11を設け、その上部に、にぎり2を設け、又、スライドブラケット3に展開ストッパ9、セットストッパ10を設ける事により、にぎり2を手でにぎり、親指でブラケット4を押えるセット状態が片手で維持出来る。そのセット状態の折り畳みハンガーは、丸くびセーター内に簡単に装入でき、ブラケット4を残りの手の指で左右に広げれば、丸くびセーターをかけた状態となる。この様に簡単に着脱出来る事を特長とします。

【選択図】図4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブラケット 4 に、左右共通又は 1 対の肩かけアーム 5 が、ピン A 7 にて結合され、又、肩かけアーム 5 とリンク 6 がピン B 8 にて結合され、又、左右のリンク 6 がスライドブラケット 3 に裏表でピン A 7 にて結合され、そのスライドブラケット 3 がブラケット 4 の矩形穴にガイドされながら、上下にスライド出来る 5 関節リンク機構において、ブラケット 4 中央表面側にセット用くぼみ 1 1、押し用くぼみ 1 2 を各々裏表に設け、ブラケット 4 のセット用くぼみ 1 1 から親指で押える事の出来る上部の位置に、にぎり 2 を設け、そのにぎり 2 の上部に回転可能としたフック 1 を設ける。又、肩かけアーム 5 先端外側に、展開用円形ガイド 1 4 を設け、なおその形状は、半径 1 2 ~ 2 5 mm とし、装入用円形ガイド 1 3 の先端 R 形状の延長線 1 5 よりはみ出さない形状とする。又、スライドブラケット 3 に肩かけアーム 5 の最先端 1 8 が、装入用円形ガイド 1 3 の背後に来る様にセットストッパ 1 0 を設け、又、展開の位置決め用の展開ストッパ 9 を片側に設ける。以上からなる折り畳みハンガー。

10

【請求項 2】

ブラケット 4 に、左右共通又は 1 対の肩かけアーム 5 が、ピン A 7 にて結合され、又、肩かけアーム 5 とリンク 6 がピン B 8 にて結合され、又、左右のリンク 6 がスライドブラケット 3 に左右 1 ケ所づつ、各々ピン B 8 にて結合され、そのスライドブラケット 3 がブラケット 4 の矩形穴にガイドされながら、上下にスライド出来る 6 関節リンク機構において、請求項 1 記載の折り畳みハンガー。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、丸くびセーター等に、簡単に着脱出来る折り畳みハンガーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、人間の肩形状を模した 1 体型の木やプラスチックのハンガー、又は、2 つ折りのハンガー、又は、簡易形のはりがねハンガー等があります。

【先行技術文献】

30

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2 0 0 3 - 1 6 9 7 4 3

【特許文献 2】特開 2 0 0 2 - 3 0 6 3 0 9

【非特許文献】

【0004】

【非特許文献 1】実開平 0 7 - 0 0 0 1 7 6

【非特許文献 2】実開昭 5 0 - 1 4 3 7 1 9

【非特許文献 3】実開昭 4 7 - 0 2 0 4 3 2

等、様々な 5 関節、又は、6 関節リンク機構で、中央にすべり軸を通す折り畳みハンガーがあります。

40

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

従来、丸くびセーター等を吊り下げ様とすれば、腹部穴より吊り下げフックを上部にし、引っかからない様にしながら、吊り下げフックをくび穴より出して吊り下げていた。又、通常、形状的にかさばり、収納に不便であり、輸送コストも大きい。

【0006】

5、又は、6 関節リンク機構で、中央にすべり軸を通す折り畳みハンガーは、セット形状を保つ場合、片手で自由な方向に向ける操作が出来ない為、取り扱いが非常に面倒で服

50

に引っかかりやすく、そのままの実現性が非常に低い。

【課題を解決する為の手段】

【0007】

今、図1、図2、図3で説明すれば、ブラケット4に、左右共通又は1対の肩かけアーム5が、ピンA7にて結合され、又、肩かけアーム5とリンク6がピンB8にて結合され、又、左右のリンク6が、スライドブラケット3に裏表でピンA7にて結合され、そのスライドブラケット3がブラケット4の矩形穴にガイドされながら、上下にスライド出来る5関節リンク機構において、

【0008】

又、図12、図13、図14で説明すれば、ブラケット4に、左右共通又は1対の肩かけアーム5が、ピンA7にて結合され、又、肩かけアーム5とリンク6がピンB8にて結合され、又、左右のリンク6が、スライドブラケット3に、左右1ヶ所ずつ、各々ピンB8にて結合され、そのスライドブラケット3がブラケット4の矩形穴にガイドされながら、上下にスライド出来る6関節リンク機構において、

【0009】

ブラケット4、中央表面側にセット用くぼみ11、押し用くぼみ12を各々裏表に設ける。(図4、図6、図7、図8参照)

【0010】

ブラケット4のセット用くぼみ11から親指で押える事の出来る上部の位置に、にぎり2を設け、そのにぎり2の上部に、回転可能としたフック1を設ける。(図4、図6、図7、8参照)

【0011】

肩かけアーム5先端外側に、展開用円形ガイド14を設ける。なおその形状は、半径12~25mmとし、装入用円形ガイド13の先端R形状の延長線15よりはみ出さない形状とする。(図1参照)

【0012】

スライドブラケット3に、肩かけアーム5の最先端18が装入用円形ガイド13の背後に来る様に、セットストッパ10を設ける。又、展開の位置決め用の展開ストッパ9を片側に設ける。(図1~図3参照)

【発明の効果】

【0013】

丸くびセーター等が簡単に着脱出来る。

【0014】

丸くびセーター等を持つ場所が襟部のみでも可能な位に手のよごれが付着しにくいので清潔である。

【0015】

嵩ばらず収納でき、輸送コストも低減出来る。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本発明の1実施例を示す5関節の折り畳みハンガーのセット時の平面図、

【図2】上記の側面図、

【図3】上記の展開時の平面図、

【図4】上記のセット時の立体図、

【図5】上記の展開時の立体図、

【図6】にぎり2をにぎり、親指でブラケット4を押えた時の平面図、

【図7】上記のA-A線断面図、

【図8】上記の状態から、親指で押そうとしている時のA-A線断面図、

【図9】図3のB-B線断面図で、ピンB8の抜け止め17を取付けた時を表わした1案を示したものである。

【図10】上記にて、抜け止め方法をスナップフィット方法とした1案を示したものであ

10

20

30

40

50

る。

【図 1 1】ブラケット 4 の材料が木の場合、部品材として、構成させた場合の立体図。

【図 1 2】本発明の 1 実施例を示す 6 関節の折り畳みハンガーのセット時の平面図。

【図 1 3】上記の側面図。

【図 1 4】上記の展開時の平面図。

【発明を実施するための形態】

【0017】

以下、本発明を実施するための形態として、上下にスライド出来る 5 関節リンク機構の、1 実施例を図 1 ~ 図 1 1 について説明すると。

【0018】

にぎり 2、ブラケット 4、肩かけアーム 5、リンク 6 の材料は、木材、又は、プラスチックとする。

【0019】

ブラケット 4 の材料を木材とする場合は、部品材として、プレート 4 a、スライドガイド 4 b、各 2 個を接着にて固着させ、ブラケット 4 を構成すれば良い。(図 1 1 参照)

【0020】

スライドブラケット 3 の材料は、木材、又は、熱可塑性プラスチックとする。

【0021】

フック 1 とにぎり 2 の取付方法は、円周方向に回転可能とする現行の取付方法のカシメ等とする。又、フック 1 の材料は、鋼材でメッキ等の現行と同一で良い。(図 1 参照)

【0022】

にぎり 2 とスライドブラケット 3 の取付方法は、接着にて固着させる。ただし、両方共材料が熱可塑性プラスチックの場合は、溶着で固着させて良い。(図 1 参照)

【0023】

スライドブラケット 3 の材料が熱可塑性プラスチックの場合は、展開ストッパ 9 は 1 体型として設ける。又、スライドブラケット 3 の材料が木材の場合は、展開ストッパ 9 の材料も木材とし、接着にて固着させる。(図 1 参照)

【0024】

ピン B 8 の頭部形状、及び、抜け止め 1 7 の外観形状は、引っかかりにくい様に、通常の座面径の 1、2 ~ 1、8 倍とした円弧形状が良い。(図 9、図 1 0 参照)

【0025】

ピン B 8 の抜け止め方法は、ピン B 8 の材料が熱可塑性プラスチックの場合は、抜け止め 1 7 の材料も同一とし、ピン B 8 に接着、又は溶着とする。又、ピン B 8 の材料がアルミの場合は、抜け止め 1 7 の材料も同一とし、接着にて固着させる。(図 9 参照)

【0026】

ピン B 8 の材料が熱可塑性プラスチックで抜け止め 1 7 の材料も同一の場合、図 1 0 の様なスナップフィット方法を用いても良い。

【0027】

ピン A 7 は、首下長さ以外はピン B 8 と同一とする。又、抜け止め方法もピン B 8 と同一とする。

【0028】

肩掛けアーム 5 の展開用円形ガイド 1 4 の形状は、セーターの編み目の大きさや装入幅の制約により、引っかかりを防止しやすい半径として、12 ~ 25 mm としブラケット 4 側の直線部となめらかにつなぐ形状とするのが良い。(図 1、図 3 参照)

【0029】

スライドブラケット 3 の装入用円形ガイド 1 3 の半径は、装入幅、及び、セットストッパ 1 0 の位置、及び、装入のしやすさより半径 50 ~ 70 mm が良い。(図 1、図 3 参照)

【0030】

セーターを取りはずす時に、ブラケット 4 を持ち上げるのに指を装入する為、又、全幅

10

20

30

40

50

の制限よりブラケット 4 の下部面 16 の幅は、図 1 のセット状態で指の太さプラス 3 ~ 8 mm が良い。

【0031】

以上の構成であるから、折り畳みハンガーが展開形状、図 3 の状態の場合、にぎり 2 を片手でにぎり、装入用円形ガイド 13 側を斜め上方に向け、持ち上げれば、ブラケット 4 や肩かけアーム 5 等の自重により下降しはじめ、肩かけアーム 5 がセットストッパ 10 と当たり、セット状態、図 1 の形状となる。(図 1 ~ 図 4 参照)

【0032】

このセット状態、図 1 で、にぎり 2 側の親指をセット用くぼみ 11 にかけて押え、もしくは多少引く事により、セットストッパ 10 に常に当たる状態を保つ事が出来、折り畳みハンガーを片手で自由な方向に向ける事が出来る。(図 4、図 6 ~ 8 参照)

10

【0033】

この状態で残りの片手で、丸くびセーターの襟のタグの場所を持ち、折り畳みハンガーの装入用円形ガイド 13 側を丸くび穴に装入し、セット用くぼみ 11 の位置に、丸くびセーターのタグが来た時、タグ側の指と折り畳みハンガー側の親指とを入れ替え、押え直しながら両手を左右に広げれば、展開用円形ガイド 14 の形状により、先端がセーターの編み目より大きい為、丸くびセーター内を引っかかる事なく肩かけアーム 5 が広がり、ブラケット 4 が展開ストッパ 9 と当たり、図 3 の展開形状となる。(図 4、図 5 参照)

【0034】

この状態は、丸くびセーターの襟のタグの場所と、セット用くぼみ 11 の位置が丸くびセーターをかけた時の位置と大体一到する為、多少のズレを直すだけで丸くびセーターをかけた状態となります。(図 5 参照)

20

【0035】

又、丸くびセーターを取りはずす場合は、片手でにぎり 2 をつかみ、残りの片手の指で、ブラケット 4 の下部面 16 を上部に持ち上げれば、丸くびセーターは肩掛けアーム 5 上をすべりながら落下し、簡単に取りはずせます。(図 5 参照)

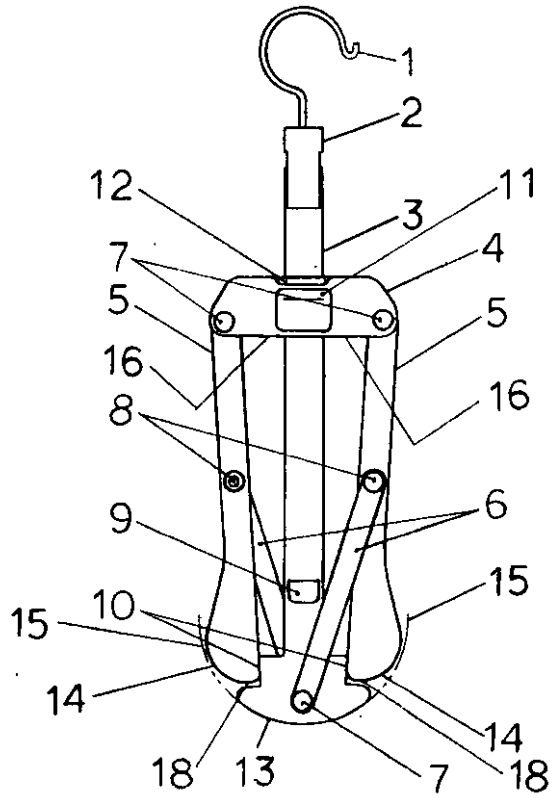
【符号の説明】

【0036】

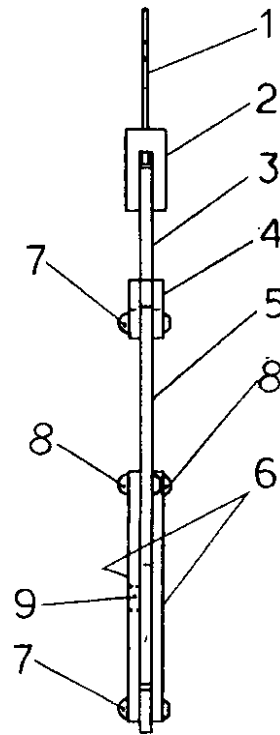
1、フック 2、にぎり 3、スライドブラケット 4、ブラケット 4 a、プレート 4 b、スライドガイド 5、肩かけアーム 6、リンク 7、ピン A 8、ピン B 9、展開ストッパ 10、セットストッパ 11、セット用くぼみ 12、押し用くぼみ 13、装入用円形ガイド 14、展開用円形ガイド 15、延長線 16、下部面 17、抜け止め 18、最先端

30

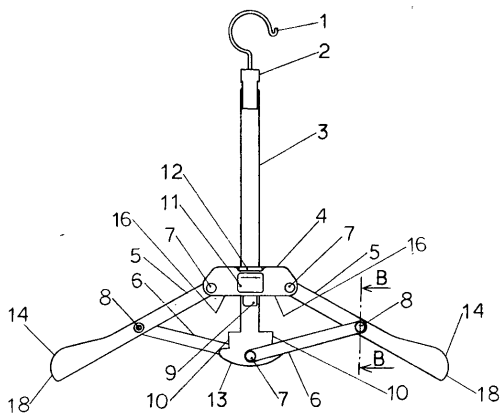
【図 1】



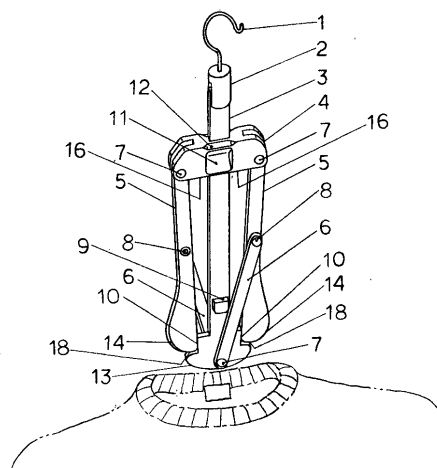
【図 2】



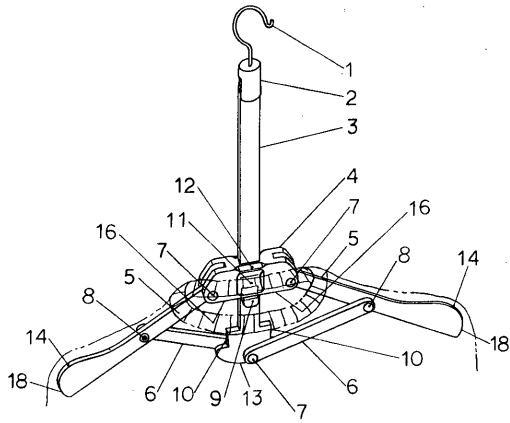
【図 3】



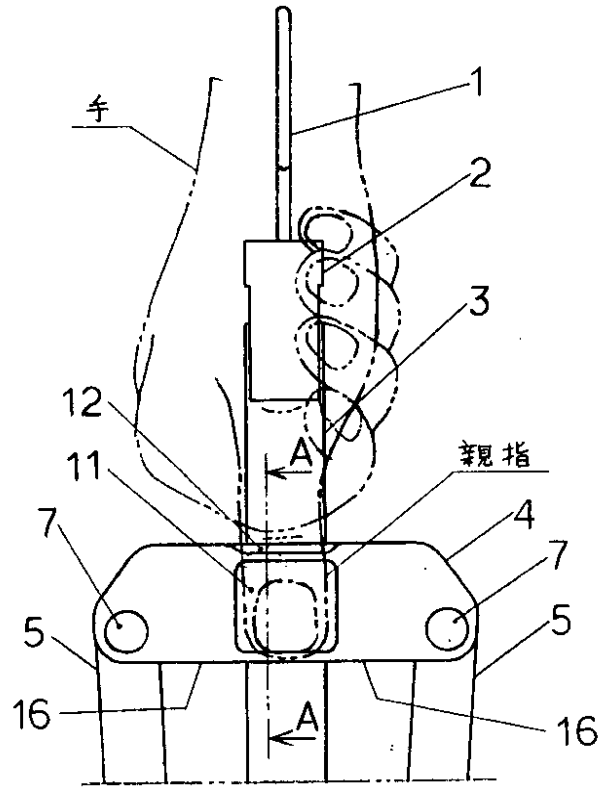
【図 4】



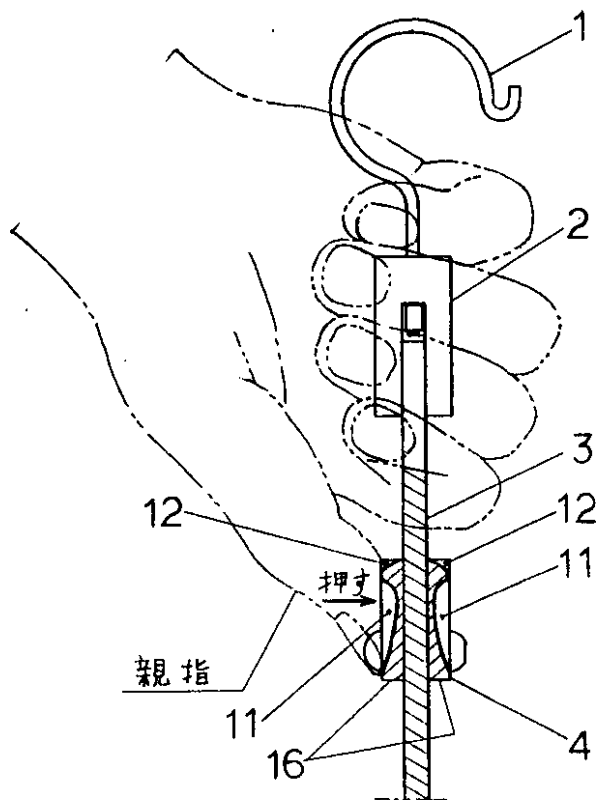
【図 5】



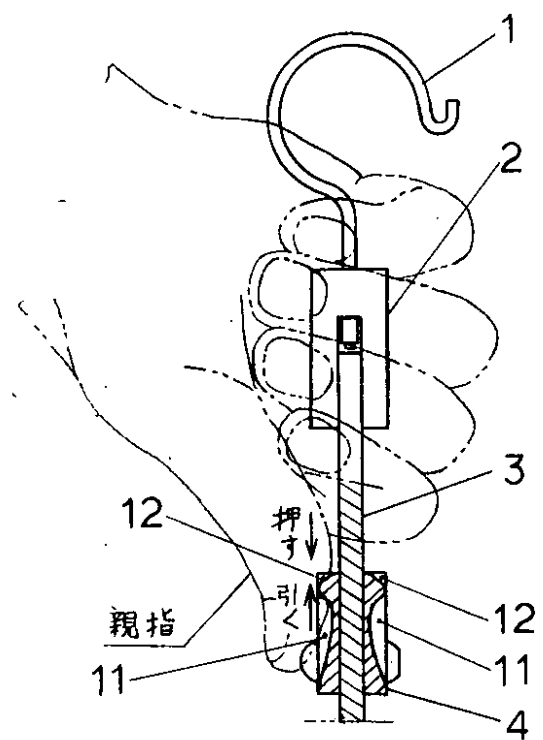
【図 6】



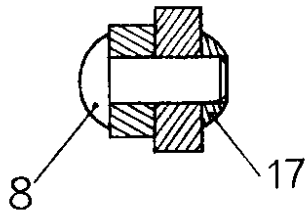
【図 7】



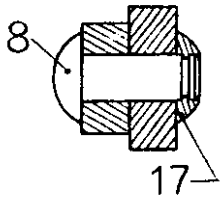
【図 8】



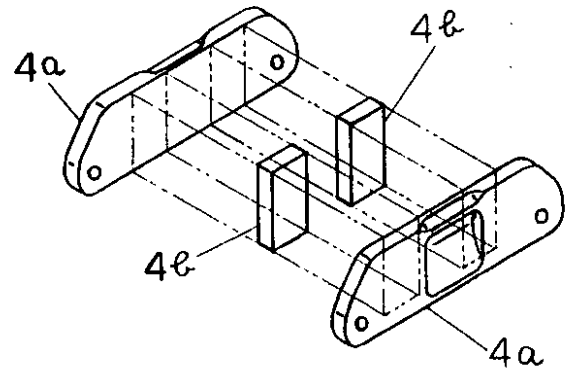
【図 9】



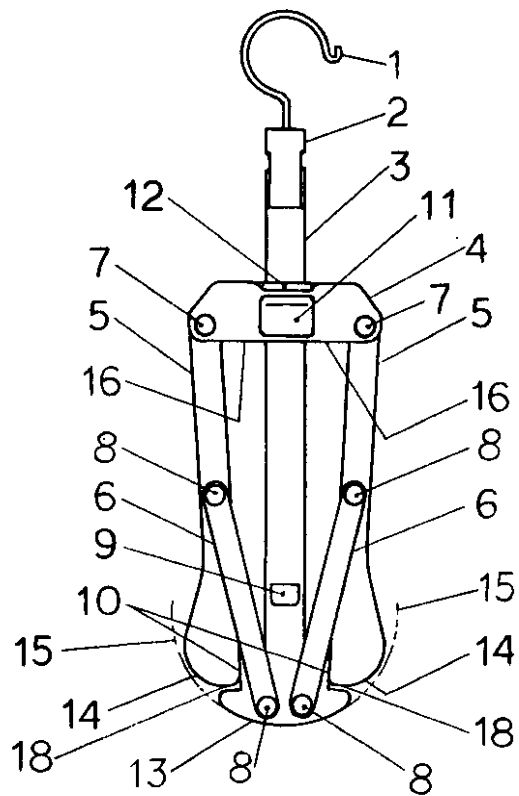
【図 10】



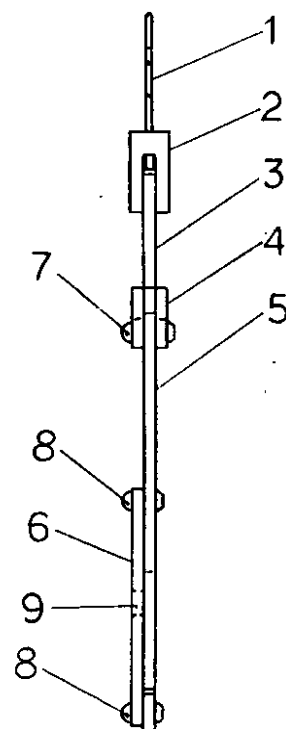
【図 11】



【図 12】



【図 13】



【図 14】

